

# 小児医療体制検討専門委員会

(令和4年度)

## 小児医療体制検討専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 小児医療体制検討専門委員会

委員長 岡田 賢

### I. はじめに

本委員会は第7次保健医療計画における小児医療対策と整合性のある取り組みを検討することを目的に設置され、小児科の医師確保計画の策定などを行ってきた。今年度は令和5年度から本格化する第8次保健医療計画の策定に向け、周産期・小児医療提供体制における医療資源の集約化・重点化等について協議・検討を行った。

### II. 開催状況

#### 1. 第1回委員会（令和5年1月12日開催）

##### ①要旨

令和5年度から本格化する第8次保健医療計画の策定に向け、引き続き医療の質の向上と安全な医療を確保していくため、周産期・小児医療提供体制における医療資源の集約化・重点化等について、先行して協議・検討を行った。

##### ②協議事項

#### (1) 第8次保健医療計画における医療資源の集約化・重点化について

周産期医療及び小児医療の両分野は、妊娠から産後の母子の保健・医療、小児に対する医療などシームレスに関連している分野であることから、次期保健医療計画に係る協議・検討を一体的・効率的に進めることとしている。広島県医療介護政策課より、本県の周産期・小児医療体制の現状として、人口減少と医療需要について、患者等の受入状況、医師の状況について報告があった。

平成18・19年度に医療資源の集約化・重点化に関する検討を行ってから15年が経過しているが、この間、出生数や小児人口は減少を続ける一方で、医師数に大きな伸びは見られず、医師の高齢化も進んでいる。前回検討当時の課題は改善・解消されておらず、病院勤務医の勤務環境や医療提供体制の確保は

厳しい状況が続いている。これらの本県の医療提供体制の現状を鑑み、限りある資源と効率的な医療提供の観点から、医療の質の向上、安全な医療を継続的に確保していくため、高度・専門的な医療機能の集約化・重点化を進める必要があるとして、第8次保健医療計画における医療資源の集約化・重点化等の方針等について提案があり、意見交換を行った。

#### 【基本的な方針】

- ①引き続き、現行の医療圏を基本に「正常に経過する分娩」を取り扱う施設があり、「初期の小児救急患者等」が受診可能な体制を維持していくこと。
- ②集約化・重点化は、医療機能（高度・専門的な医療、救急）の維持・強化を図る上から各圏域の中核となる病院とし、両分野についてできるだけ同一の医療機関となるよう、進めていくこととしてはどうか。
- ③医療需要の減少と地域ごとの差の拡大が見込まれること、アクセスを一定程度確保する必要があることから、患者の動向等を踏まえ、「相互に連携を強める圏域」を設定し、必要な医療を確保していくこととしてはどうか。
- ④医師の勤務環境が適切に保たれるよう、特定の医療機関へ負担を集中させないこと。

・集約化・重点化は各圏域の中核となる病院（原則1つ）とし、周産期・小児医療について、できるだけ同一の医療機関となるよう進めていくことについて

出席委員からは、広島、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北の各圏域における夜間の救急受入れ状況や新生児医療の現状などについての報告があり、集約化・重点化における産科施設との連携の必要性、NICU病床数の充足状況、働き方改革を踏まえた小

児医療提供体制の検討などについての意見があった。

・「各圏域の中核となる病院」について

基本的な方針②における「各圏域の中核となる病院」については、15年前の「連携強化病院」「連携病院」の集約化・重点化の考え方をもとに、各圏域の中核となる病院（連携強化病院）を原則1つに特定すること（連携している広島・広島西圏域、福山・府中圏域では、複数となることも想定される）とし、拠点性が明確な地域周産期母子医療センターが認定されている医療機関をベースに検討する旨の提案があり、意見交換を行った。

【各圏域の中核となる病院】（表）

- ・広島・広島西：「高度医療・人材育成拠点の整備」に伴う医療機能再編と合わせた検討が必要ではないか。
- ・呉：15年前は他圏域を補完する必要性等を勘案し、2カ所程度としたが、広島中央圏域の拠点整備を踏まえ、圏域に具体の検討を求めることとしてはどうか。
- ・広島中央：現状から「東広島医療センター」ではないか。

- ・尾三：現状から「JA尾道総合病院」ではないか。
- ・福山・府中：地域周産期母子医療センターである福山医療センターと、小児救急医療拠点であり、今後、周産期医療機能の強化を目指している福山市民病院との今後の見通しや役割分担も含め、圏域に具体的な検討を求めることとしてはどうか。
- ・備北：現状から「市立三次中央病院」ではないか。

出席委員からは、東広島医療センター、中国労災病院、呉医療センターの現状などについて報告があり、「各圏域の中核となる病院」を原則1つに特定することに対する意見交換を行った。

・「相互に連携を強める圏域」の設定について

将来を見据え「相互に連携を強める圏域」として、従来からの「広島と広島西」に加え「備北」、新たに「呉と広島中央」、「尾三と福山・府中」の3つのエリアを設定し、必要な医療を確保していくことが提案され、意見交換を行った。

出席委員からは、県北での医療従事者不足の状況や相互連携の想定内容、医療従事者の人事交流、広島県の隣接県との広域連携などについての意見があった。

表

【各圏域の中核となる病院】

※ 地域の中核となる病院：拠点性が明確な地域周産期母子医療センターが認定されている医療機関をベースに検討してはどうか。

圏域	平成18・19年の検討における集約化・重点化の方針等 (産科医療提供体制)	次期保健医療計画における 中核となる病院について
全県	○ 総合周産期母子医療センター ○ 救命救急センター	同左 ※小児救命救急センター(新病院基本構想)
広島	・ 北部をカバーする安佐市民病院を含め、3カ所程度 ・ 医師の供給見通しや他圏域を補完する必要性等を勘案	→ 「高度医療・人材育成拠点の整備」に伴う医療機能再編と合わせた整理が必要ではないか。
広島西	・ 1カ所 ・ JA広島総合病院の強化と合わせ設定	
呉	・ 医師の供給見通しや他圏域を補完する必要性等を勘案し、2カ所程度	→ <u>広島中央圏域の拠点整備を踏まえ、圏域に具体の検討を求めることとしてはどうか。</u>
広島中央	・ 1カ所 ・ 産科医療体制の確保方策について、引き続き検討	・ <u>現状から「東広島医療センター」ではないか。</u> ※地域周産期母子医療センターに認定(平成24.10)
尾三	・ 1カ所 ・ JA尾道総合病院の強化の強化と合わせ設定	・ <u>現状から「JA尾道総合病院」ではないか。</u>
福山・府中	・ 圏域の人口等を勘案すると2カ所程度が望ましいが、 <u>医師の供給見通しや地域の実情</u> を考慮すると1カ所	→ <u>圏域に具体の検討を求めることとしてはどうか。</u>
備北	・ 1カ所 ・ 市立三次中央病院の強化と合わせ設定	・ <u>現状から「市立三次中央病院」ではないか。</u>

(2) 広島県小児科医会「小児科医の働き方に対するアンケート」について

広島県小児科医会の委員より、昨年3月に広島県小児科医会の会員へ実施した「小児科医の働き方に対するアンケート」の結果について報告があった。アンケート調査では、女性の働き方に関して大切と考えるものとして、パートナーの理解と協力、職場上司の理解や小児科医数のほか、育児中の医師の勤務に関する公的支援があると良い、などの意見があった。また、勤務医の働き方改革に対して大切と考えるものとして、職場の小児科医数、看護師・薬剤師・医療事務などの他職種による役割分担、複数主治医制との回答のほか、病院の統合により、一病院に医師・その他のスタッフ・ベッド数を多くすることで働き方改革ができるとの意見もあった。

アンケートの結果より、医師でなければできない

ことに集中できる環境作りが大切で、その人にあった仕事をしてもらうことが離職を防ぐことにつながるとの報告があった。

出席委員からは、他の医療職における働き方改革への対応状況などについての意見があった。

### Ⅲ. 今後について

今後は、本委員会ならびに地対協産科医療体制検討専門委員会での議論を踏まえ、各圏域地対協において議論を行う。令和5年度早期（6月頃を予定）に「広島県周産期医療協議会」と小児医療合同会議（「周産期・小児医療協議会」として組織設置することも検討）において整理し、医療計画の策定指針と今回の整理を踏まえ、次期保健医療計画の「周産期医療対策」、「小児医療（小児救急医療を含む）対策」について検討を行っていく予定である。

広島県地域保健対策協議会 小児医療体制検討専門委員会

委員長	岡田 賢	広島大学大学院医系科学研究科小児科学
委員	荒木 徹	福山医療センター
	池田 政憲	福山市民病院
	今井真由美	広島県健康福祉局医療介護政策課
	岩瀧真一郎	JA尾道総合病院
	上野 哲史	東広島医療センター
	大田 敏之	広島県医師会
	岡野 里香	広島市立舟入市民病院
	片岡 功一	広島市立広島市民病院
	加藤 聡	重症児・者福祉医療施設 鈴が峰
	川口 浩史	広島大学大学院医系科学研究科小児科学
	小西 央郎	中国労災病院
	古森 遼太	庄原赤十字病院
	斉藤 一博	広島県健康福祉局医療機能強化担当
	下藺 広行	市立三次中央病院
	神野 和彦	県立広島病院
	世羅 康彦	呉医療センター・中国がんセンター
	辻 徹郎	JA広島総合病院
	遠山 郁也	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	中西 敏夫	広島県医師会
	西丸 幸治	広島県健康福祉局障害者支援課
	西村 裕	広島市立広島市民病院
	福原 里恵	県立広島病院
	馬渡 英夫	広島県立障害者療育支援センターわかば療育園
	森 美喜夫	広島県小児科医会